

与那国空港脱炭素化推進協議会(第1回)

議事次第

日時: 令和7年5月29日(木)

14:00～16:00

場所: 沖縄県与那国空港管理事務所
2階会議室

1 開会

2 協議会 開会挨拶

3 出席者紹介

4 協議会の設立

5 与那国空港脱炭素化推進計画について

(1) 空港の脱炭素化に関する動向等について

(2) 昨年度の取組及び現状のCO2排出量等について

(3) 今後の方針について

6 閉会

与那国空港脱炭素化推進協議会（第1回） 議事概要

1 日時 令和7年5月29日（木）14:00～16:00

2 場所 与那国空港 1階応接室 <WEB会議併用>

3 参加者 別紙のとおり

4 議事概要

(1) 協議会の設立について

事務局から「協議会規約」について説明し、構成員の了解を得た。

【質問・意見等】

特になし

(2) 空港の脱炭素化に関する動向等について

事務局から、2050年カーボンニュートラルにむけた国の動き、空港分野における脱炭素化の将来目標、空港におけるCO₂排出要因及びCO₂削減の取り組み例イメージを説明した。

【質問・意見等】

特になし

(3) 昨年度の取組及び現状のCO₂排出量等について

事務局から、昨年度に取組んだアンケート調査の内容から試算した年間CO₂排出量、2030年度及び2050年度までに削減するCO₂の目標量を説明した。

【質問・意見等】

特になし

(4) 今後の方針について

事務局から、協議会等の実施予定スケジュール、次回協議会に向けて検討すべき事項を説明した。

【質問・意見等】

特になし

(5) その他情報提供

〈構成員〉

EV 型の GSE 車両の購入を検討しているが、充電施設の設置も必要であることから、与那国空港の施設設置場所を早く調整いただけるならば、EV 型車両を導入できる可能性がある。

〈事務局〉

充電施設設置場所については、今後調整させていただきたい。

〈構成員〉

沖縄県は台風の被害が大きいことから、BCP 対策を兼ねた脱炭素施策として、蓄電池と EV 充電器を組合せた安定的な電力供給システムを提案したい。蓄電池から充電器につないで電力を供給する方法や、車両から充電器を経由して蓄電池に電力を貯める方法が出来ればと考える。EV の導入に関する課題として、GSE 車両は充電規格が統一されておらず、海外のメーカーの規格に準ずる必要がある。充電器の設置に際しては、充電器の規格を統一するか・車両ごとに対応する充電器を設置するかを考える必要がある。なお、蓄電池とチャージャー（Chademo 方式）を組み合わせで導入すれば、与那国空港管理事務所所有の連絡車やその他、Chademo 方式の車両については規格統一の課題は解決する。久米島空港では窓ガラスへ日射を抑制する遮熱フィルムを導入しており、それが効果的であれば、与那国空港にも展開していきたい。

〈事務局〉

空港施設は防災拠点といった機能もあることから、BCP の観点からも検討が必要である。単発の補助金を活用するだけでなく、複合的に将来ビジョンを考え、検討していきたい。今後、将来の取組に関する聞き取りを予定しているので、複合的に取り組むべき脱炭素化施策等に関連する意見があれば提案いただきたい。

以上

(別紙)

与那国空港脱炭素化推進協議会（第1回）

表1 参加者一覧（構成員）

	事業所名	備考	出欠
1	琉球エアコミューター（株） 与那国空港所	航空会社	現地参加
2	JAL スカイエアポート沖縄（株）	グランド ハンドリング会社	WEB 参加
3	八重山ビル管理（株）	空港ビル	欠席
4	沖縄電力（株）	電力事業者	現地参加
5	沖縄県与那国空港管理事務所 （沖縄県八重山郡与那国町空港課）	町	現地参加
6	下地島空港施設（株）	給油事業者等	欠席
7	沖縄県土木建築部 参事	会長	現地参加